

精密工学会賞 第4回 (2008年度)

受賞者業績紹介

受賞者： 幸田 盛堂 氏

幸田盛堂氏は、1971年に大阪機工(株)に入社以来、一貫して工作機械技術、加工技術関連の研究開発に取り組み、それらの研究成果を積極的に精密工学会、日本機械学会、砥粒加工学会等の学術講演会にて発表し、工作機械に関連する技術の普及や工作機械関連の研究者・技術者の啓蒙活動に貢献した。これらの研究開発活動の結果は、多数の特許出願、研究論文として結実するとともに、1981年 兵庫県科学賞、1982年 全国発明表彰発明賞、1993年 先端加工学会技術賞、2003年精密工学会賞など、多くの賞を受賞している。

一方、学会活動としては精密工学会、日本機械学会、砥粒加工学会等の各種役員・委員を歴任しており、精密工学会では、理事、評議員、副支部長などを務めた。また、長年にわたり、精密工学会をはじめとして各種学会の学術講演会における工作機械関連セッションのオーガナイザを勤め、学会活動ならびに、産学連携による工作機械の研究開発活動の活性化にも大きな役割を果たしてきた。

これらと平行して、神戸大学、大阪大学、姫路工業大学、九州工業大学大学院、大阪電気通信大学、関西大学等々、多数の大学において、企業人ならではの実務経験を背景とした工作機械や設計製図関連の講義を行うなど、教育活動も積極的に行い、若手技術者の育成に尽力した。

以上のような業績が高く評価され、精密工学会、日本機械学会よりフェローの称号が授与されている。このように学会、産業界の発展に果たした貢献はきわめて大である。

1971年 大阪大学工学部精密工学科卒業

同年 大阪機工株式会社入社

2003年 同社取締役技術本部長

2007年 同社代表取締役常務取締役

2008年 同社代表取締役常務執行役員

猪名川製造所長・管理本部長

精密工学会フェロー、学術博士